アンケート結果の報告（本報告）

アンケート調査のご協力ありがとうございました。

調査概要

対象者　谷中地区全世帯 （約7,250世帯）
（谷中地区 ：池之端3・4丁目、谷中1～7丁目、上野桜木1・2丁目）

配布期間　令和8年7月30日(木)～令和8年8月6日(木)

配布方法　ポスティングによる配布

回答方法　アンケート同封の封筒による郵送とLoGoフォームを活用したWEB回答を併用

回答受付期間　～令和8年8月21日(金)まで

回答数

郵送	WEB	有効回答数
1,156件 （うち無効1件）	734件	1,889件

有効回答率
26.1%

アンケートの設問項目

調査票

WEB フォームからの回答の際は、下の ID 番号を入れてください。

ID 番号	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

※ID 番号は重複回答を防ぐためのものであり、個人を識別するためのものではありません。

問１　谷中地区の魅力を引き継ぐことについて

谷中地区の歴史・文化、まちなみ、暮らし、商い、行事、地域活動等の魅力を引き継いでいくことは、どの程度大切だと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

1．とても大切	2．ある程度大切	3．どちらでもない	4．あまり大切ではない	5．大切ではない

問２　今後も大切にしたい、引き継ぎたい「この地域ならではの魅力」について

【問２－１】谷中地区で大切にしたい、引き継ぎたいと思うものは何ですか。
（あてはまるもの【すべて】に○）

1．寺院、墓地がつくる落ち着いた雰囲気	2．路地、坂道、階段のある景色
3．昔から残る建物、店舗、門、塀などの景観	4．祭礼、年中行事、町会等の地域活動
5．日常の生活圏に収まるスケール感	6．空が広く見えるまち並み
7．樹木、生け垣、プランター等の豊かな緑	8．芸術、文化活動
9．地域の伝統工芸	10．特になし
11．その他（　　）	

【問２－２】問２－１で選んだもののうち、あなたが【最も大切にしたいもの】を１つだけ選び、番号を記入してください。具体的な場所や対象・理由があればご記入ください。

番号を１つ記入	具体的な場所や対象・理由　（例：○○坂の上からの景色、△△寺のお祭り　など）

問３　まちなみや暮らしの中で感じる「変化や課題、将来への不安」について

【問３－１】谷中地区のまちなみや暮らしについて、気になる変化や困りごとはありますか。
（あてはまるもの【すべて】に○）

1．建替え等による、歴史的なまちなみや雰囲気の変化	2．古い建物、門、塀等の老朽化や維持管理、耐震性への不安
3．災害時の避難、延焼、電柱倒壊、初期消火への不安	4．狭い道路や路地での歩行者、自転車、自動車の通行の危険性
5．観光客等による混雑、通行の妨げ	6．坂道、階段、段差等による移動のしにくさ
7．路上のゴミのポイ捨て、喫煙マナー、騒音	8．路地等での写真撮影のモラル、私有地への無断立ち入り
9．休憩場所、広場、案内板、公衆トイレ等の不足	10．昔からの商い、職人の仕事、祭礼や地域活動の担い手不足
11．建物や土地の維持・改修のための費用面の不安	
12．その他（　　）	

【問３－２】問３－１で選んだもののうち、あなたが【最も気になるもの】を１つだけ選び、番号を記入してください。もし、具体的な場所や現状があればご記入ください。

番号を１つ記入	具体的な場所や現状 （例：○○通り沿い、△△店舗前　など）	改善後の理想の状態

アンケートは裏面に続きます

問４　まちづくりの進め方について

【問４－１】区がまちづくりを進めていくにあたり、関心があることは何ですか。
（あてはまるもの【すべて】に○）

1．自分の家の建替えや改修をするときのルール	2．助成金制度はどういったものがあるか
3．どのエリアを優先してまちづくりを検討するのか	4．観光客がさらに増えたときの対策
5．私たちの意見がどうやってまちづくりの検討に反映されるのか	
6．実際にまちづくりがどういったスケジュールで進むのか	
7．特になし	
8．その他（　　）	

【問４－２】アンケートの集計結果等を共有する、資料展示型の意見交換会（オープンハウス）を９月に谷中区民館で開催を予定しています。おおよその来場者を把握するためお答えください。

■参加を希望しますか。（あてはまるもの一つに○）

1．はい	2．いいえ

■参加希望日を教えてください。（あてはまるもの【すべて】に○）

1．９月 26 日(土)午前	2．９月 26 日(土)午後	3．９月 26 日(土)午後６時以降
4．９月 27 日(日)午前	5．９月 27 日(日)午後	6．９月 27 日(日)午後６時以降
7．９月 28 日(月)午前	8．９月 28 日(月)午後	9．９月 28 日(月)午後６時以降

＊意見交換会（オープンハウス）の詳細は、後日、区のホームページ等でご案内いたします。

問５　そのほかのご意見やご要望について

そのほか、ご意見やご要望がありましたら、教えてください。

問６　回答者さまについて

回答者さまについてお聞かせください。（①～④それぞれについて、あてはまるものに１つに○）

①年代	1．20 歳未満	2．20 歳代	3．30 歳代	4．40 歳代
	5．50 歳代	6．60 歳代	7．70 歳代	8．80 歳代以上
②居住地	1．上野桜木一丁目	2．上野桜木二丁目	3．谷中一丁目	4．谷中二丁目
	5．谷中三丁目	6．谷中四丁目	7．谷中五丁目	8．谷中六丁目
	9．谷中七丁目	10．池之端三丁目	11．池之端四丁目	
③住宅の種類	1．持ち家（一戸建て）		2．持ち家（マンション）	
	3．賃貸住宅（マンション・アパート）		4．間借り（下宿、シェアハウスなど）	
	5．その他（　　）			
④居住年数	1．５年未満	2．５年～９年	3．10 年～19 年	4．20 年～29 年
	5．30 年～39 年	6．40 年～49 年	7．50 年以上	

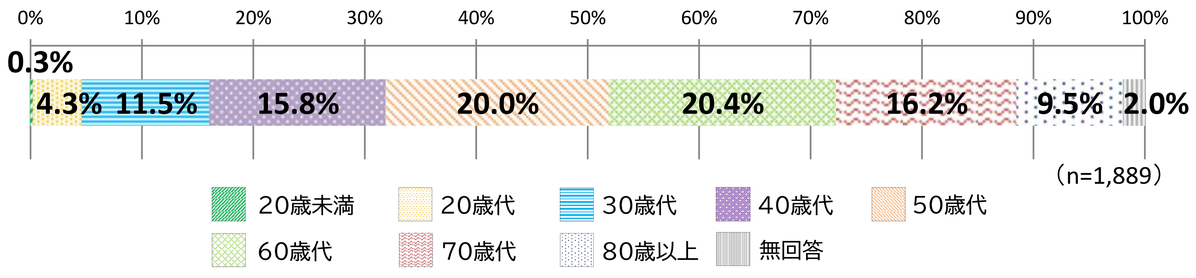
アンケートはこれで以上となります。回答へのご協力ありがとうございました

回答者の属性

回答者さまについて

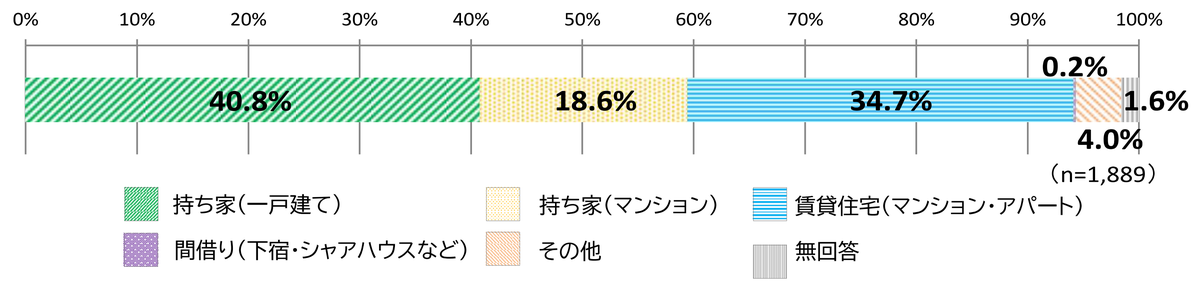
＜年代＞

「60歳代」が20.4%と最も多く、次いで「50歳代」が20.0%、
「70歳代」が16.2%、「40歳代」が15.8%である。



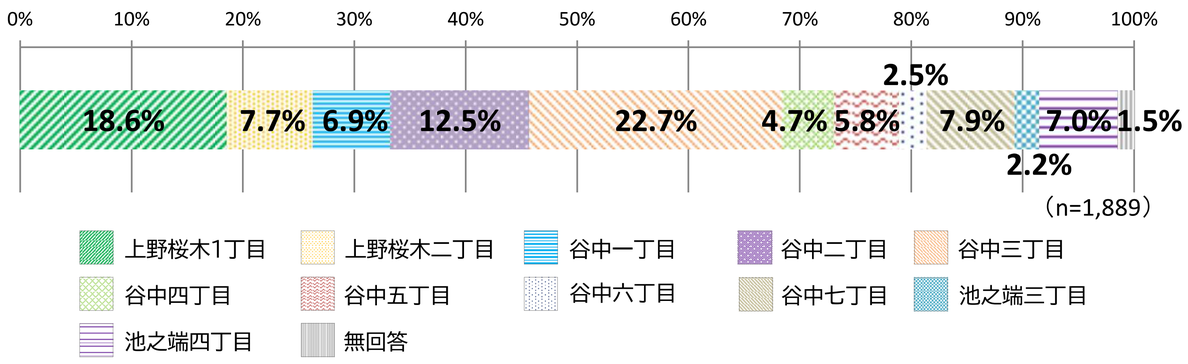
＜住宅の種類＞

「持ち家（一戸建て）」が40.8%と最も多く、
次いで「賃貸住宅（マンション・アパート）」が34.7%、「持ち家（マンション）」が18.6%である。



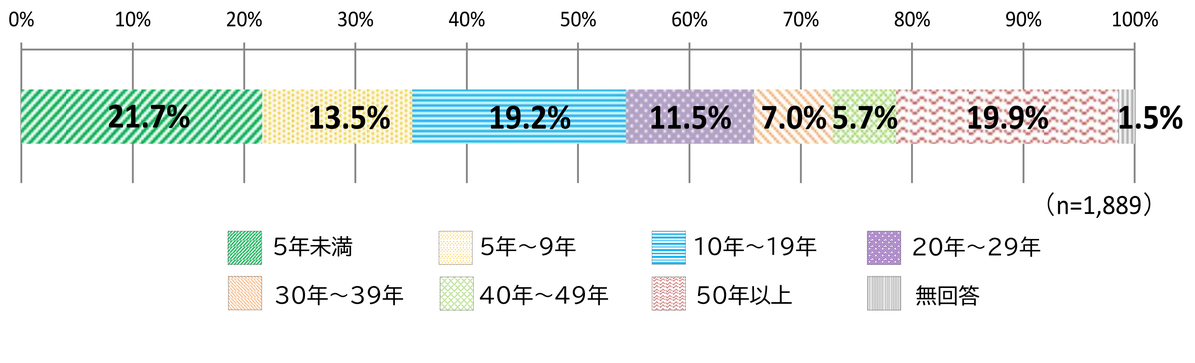
＜居住地＞

「谷中三丁目」が22.7%と最も多く、次いで「上野桜木一丁目」が18.6%、
「谷中二丁目」が12.5%、「谷中七丁目」が7.9%である。



＜居住年数＞

「5年未満」が21.7%と最も多く、次いで「50年以上」が19.9%、
「10年～19年」が19.2%、「5年～9年」が13.5%である。

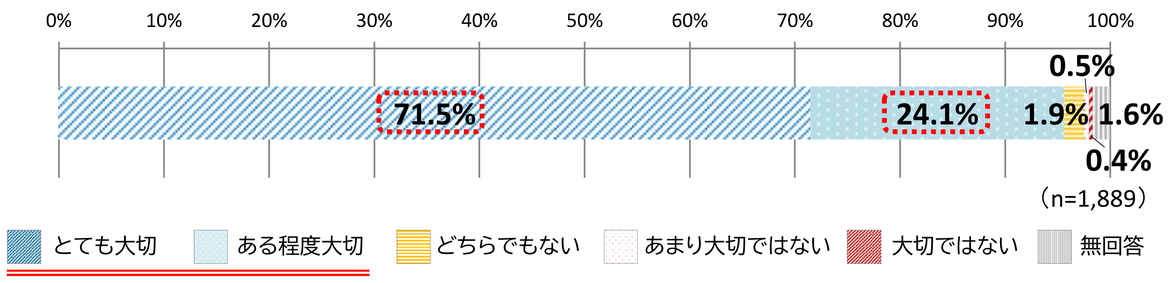


問1　谷中地区の魅力を引き継ぐことについて

谷中地区の歴史・文化、まちなみ、暮らし、商い、行事、地域活動等の魅力を引き継いでいくことは、どの程度大切だと思いますか。
（あてはまるもの1つに○）

「谷中の魅力を引き継いでいくことが大切」と考える人が、全体の約96%を占めました

「とても大切」が71.5%と最も多く、次いで「ある程度大切」が24.1%、「どちらでもない」が1.9%、「あまり大切ではない」が0.5%である。



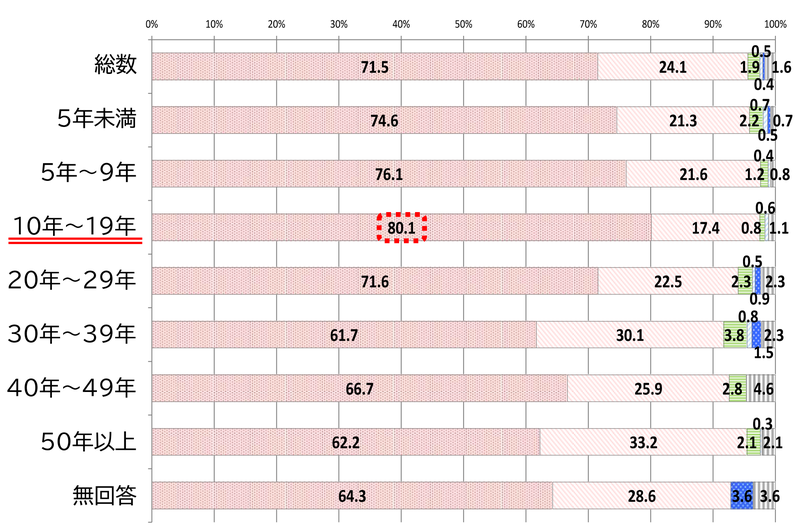
年代別 集計

- 「とても大切」については、 20歳未満から60歳代の割合が高い。



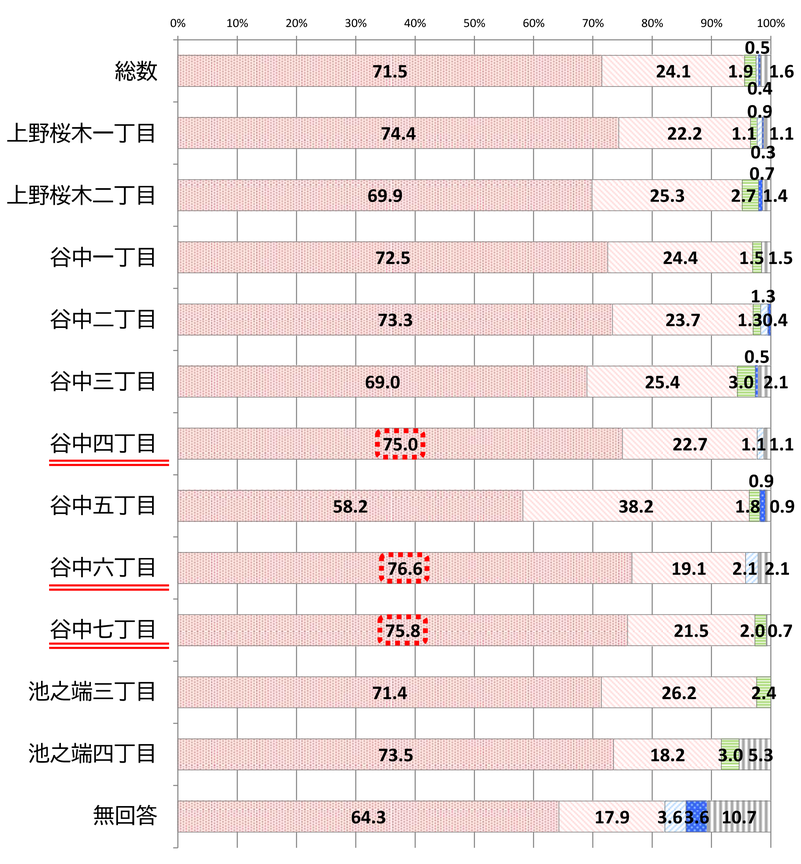
居住年数別 集計

- 「とても大切」は居住歴10～19年が80.1%と最も高い。



町丁目別 集計

- 「とても大切」が谷中六丁目（76.6%）、谷中七丁目（75.8%）、谷中四丁目（75.0%）の順で高い。

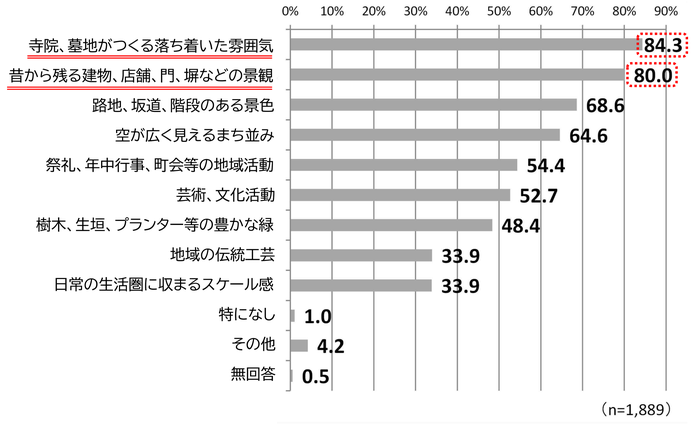


問2　今後も大切にしたい、引き継ぎたい「この地域ならではの魅力」について

【問2－1】 谷中地区で大切にしたい、引き継ぎたいと思うものは何ですか。（あてはまるもの【すべて】に○）

「寺院・墓地がつくる落ち着いた雰囲気」が最も多く選ばれました
「昔から残る建物、店舗、門、塀などの景観」 も8割の方が選択しました

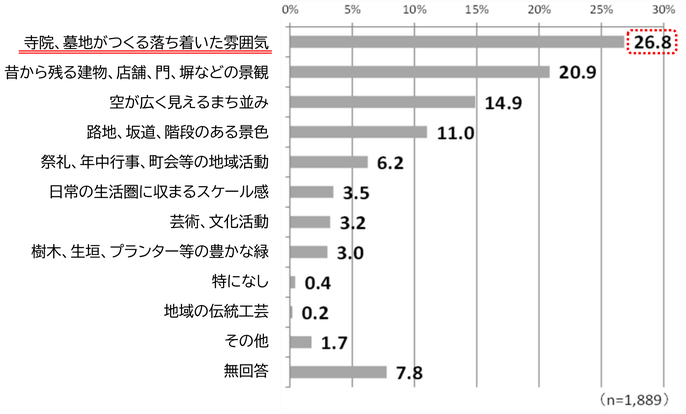
「寺院、墓地がつくる落ち着いた雰囲気」が84.3%と最も多く、次いで「昔から残る建物、店舗、門、塀などの景観」が80.0%、「路地、坂道、階段のある景色」が68.6%、「空が広く見えるまち並み」が64.6%である。



【問2－2】 問2－1で選んだもののうち、あなたが【最も大切にしたいもの】を1つ だけ選び、番号を記入してください。
具体的な場所や対象・理由があればご記入ください。

「寺院・墓地がつくる落ち着いた雰囲気」が最も多く選ばれました

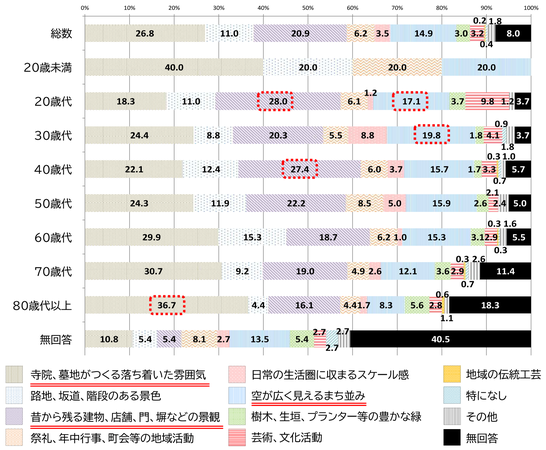
「寺院、墓地がつくる落ち着いた雰囲気」が26.8%と最も多く、次いで「昔から残る建物、店舗、門、塀などの景観」が20.9%、「空が広く見えるまち並み」が14.9%、「路地、坂道、階段のある景色」が11.0%である。



【問2-2】のクロス分析

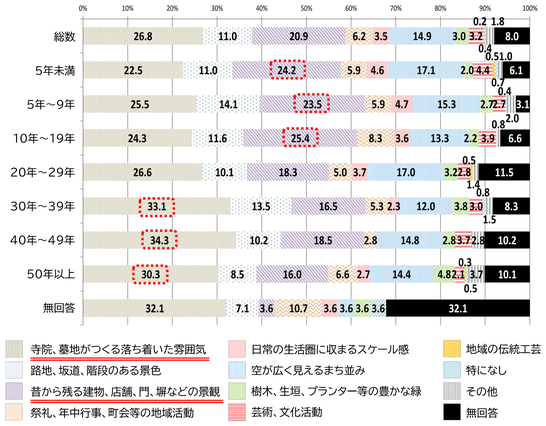
年代別 集計

- 「寺院、墓地がつくる落ち着いた雰囲気」は年代が高いほど割合が高く、80歳代以上で36.7%である。
- 「昔から残る建物、店舗、門、塀などの景観」は20歳代(28.0%)と40歳代(27.4%)で比較的高い。
- 一方、「空が広く見えるまち並み」は年代が低いほど割合が高く、20歳代では17.1%、30歳代では19.8%である。



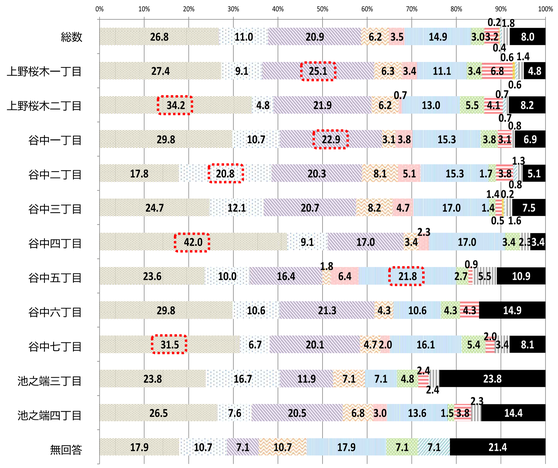
居住年数別 集計

- 「寺院、墓地がつくる落ち着いた雰囲気」は30～39年(33.1%)、40～49年(34.3%)、50年以上(30.3%)で比較的高い。
- 一方、「昔から残る建物、店舗、門、塀などの景観」は5年未満(24.2%)、5年～9年(23.5%)、10～19年(25.4%)と居住歴が短い層で高い。



町丁目別 集計

- 「寺院、墓地がつくる落ち着いた雰囲気」は谷中四丁目で42.0%と最も高く、上野桜木二丁目(34.2%)、谷中七丁目(31.5%)が続く。
- その一方で谷中二丁目では「路地、坂道、階段のある景色」が20.8%と総数の11.0%を大きく上回っている。
- 「昔から残る建物、店舗、門、塀などの景観」は、上野桜木一丁目で25.1%、谷中一丁目で22.9%と総数よりも高い。
- また、「空が広く見えるまち並み」は谷中五丁目で21.8%と最も高い。



具体的な場所や対象・理由 の概要

寺院・墓地がつくる落ち着いた雰囲気
谷中霊園、寛永寺、天王寺、三崎坂、瑞輪寺、観音寺など

寺院・墓地が生む静けさ、広い空、緑、桜並木、鐘や線香の香りに、谷中らしさと心の安らぎを感じる回答が中心。谷中霊園や寛永寺・天王寺をはじめ、寺院群と民家が共存する寺町全体が象徴として挙げられた。都心では希少な散歩環境、四季、歴史・文化、治安や低層景観にもつながるため、高層建築や過度な観光化を避け、寺院・樹木・桜を維持してほしいという意見が多かった。

昔から残る建物、店舗、門、塀などの景観
築地塀、朝倉彫塑館、カヤバ珈琲、へび道、谷中銀座、上野桜木など

震災・戦災を免れた木造家屋、長屋、寺院、門・塀、老舗や個人商店は、再現できない歴史資産であり谷中の最大の魅力と捉えられている。築地塀、朝倉彫塑館、カヤバ珈琲、大名時計博物館、へび道や谷中銀座周辺などが具体例として多い。マンション、チェーン店等への建替え等で急速に失われることへの危機感があるとの意見が多かった。

空が広く見えるまち並み
谷中霊園、夕焼けだんだん、三崎坂、蛍坂、瑞輪寺、上野桜木など

低層の建物、寺院・墓地・緑によって空が広く、日当たりや風通しがよく、圧迫感がないことが都心では希少な魅力とされている。
谷中霊園、夕焼けだんだん、三崎坂、蛍坂などからの夕日・月・スカイツリー等の眺望が多く挙げられた。高さ制限・低層化・無電柱化・緑化等を進めてほしいとの声があった。

路地、坂道、階段のある景色
夕焼けだんだん、三崎坂、あかじ坂、三浦坂、へび道、富士見坂など

坂の上からの夕日や眺望、階段、迷路のような細い路地、井戸、長屋や個人商店がつくる生活感が魅力として挙げられた。特に夕焼けだんだん、三崎坂、あかじ坂、三浦坂、へび道への言及が多く、挨拶や子どもの遊び、日常会話など人の営みと一体になった風景が評価されている。マンション建設等で眺望や路地景観が失われることへの懸念があり、防災上の課題に配慮しつつ骨格を残してほしいとの声があった。

祭礼、年中行事、町会等の地域活動
諏方神社例大祭、谷中まつり、盆踊り、ひゃっこい祭り、町会・消防団活動など

日常の生活圏に収まるスケール感
谷中銀座、へび道、個人商店、徒歩圏の駅・病院・図書館など

芸術・文化活動
東京藝術大学、朝倉彫塑館、上野公園の美術館・博物館、大名時計博物館など

樹木、生け垣、プランター等の豊かな緑
ヒマラヤ杉、谷中霊園・桜並木、上野公園、初音の森、寺院の庭など

地域の伝統工芸
諏方神社祭礼、伝統芸能、江戸期からの文化・祭り

その他
地域コミュニティ、個人商店、鐘の音、文化人の記念館、地域猫など